

CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	草ヶ江小学校講堂兼体育館改築等	階数	地上4F
建設地	福岡県福岡市中央区草香江2丁目	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域、法22条地域	平均居住人員	740 人
気候区分		年間使用時間	2,300 時間/年
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年12月 0.0	評価の実施日	2015年9月7日
敷地面積	13,777 m ²	作成者	(株)外本建築設計事務所
建築面積	1,539 m ²	確認日	2015年1月10日
延床面積	3,380 m ²	確認者	外本六助



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆

標準計算

①参照値: 100% (46 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み: 87%

③上記+②以外の: 87%

④上記+: 87%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5

Q1 室内環境: 3

Q3 室外環境(敷地内): 2

LR1 エネルギー: 1

LR2 資源・マテリアル: 2

LR3 敷地外環境: 3

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合 ・自然光、自然換気の確保 ・地熱等自然資源を活用	その他 (注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。	
Q1 室内環境 ・自然光、自然換気の確保 ・音の配慮が必要な居室についてはT2仕様の建具を採用。	Q2 サービス性能 ・バリアフリーの整備基準を満たした計画 ・災害時の避難収容施設として安全性及び設備を確保 ・地震に対する安全性を確保	Q3 室外環境(敷地内) ・既設体育館が配置されていた場所に新たに建築する為、既存緑地、グランドを害することのない計画とした
LR1 エネルギー ・地中熱を利用したクール・ヒートトレンチを採用 ・高効率機器を利用するなど、建築物の環境負荷低減性に配慮している	LR2 資源・マテリアル ・節水コマなどに加えて省水型機器などを用いている ・リサイクル資材を部分的に使用している	LR3 敷地外環境 ・既設体育館が配置されていた場所に新たに建築する為、既存緑地、グランドを害することのない計画とした

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される